

まちづくり部会

新年度は「まちづくり講座」で交流推進

まちづくり部会では、年に数回のウォーキングイベントやフォトラリーを実施しています。近年ではこれらのイベントも定着し参加者も増えてきています。読者の中にも参加いただいた方は多いと思います。しかしこれらの取り組みを何のために行っているのかをご存知の方はあまりおられないのではないのでしょうか。取り組みの目的は“まち並み保存の推進”の一環として、自分たちの住んでいるまちの歴史的文化遺産や歴史的景観、新しい施設などを知ってもらい、安全で快適な住みよいまちづくりに活かしてもらうことにあります。



とは言え、そんなことを知らなくても、参加し楽しんでもらえれば有難く“目的”を知ってもらえれば、なお嬉しいです。

さて、そんなまちづくり部会の活動ですが、新年度からは市民の方々とさらに密着し、共に枚方のこれからのまちづくりを考えていく場を設けるため「まちづくり講座」を実施する予定です。講座を開く地域の歴史や文化・防災等についてで、受講者のリクエストも



反映し、一方通行でないぎっくばらんな意見交換ができる場をめざしたいと考えています。「まちづくり講座」を通じて、これまで以上に広く深く枚方の魅力を知っていただくことが、安全・快適で住みよいまちづくりへの意欲に繋がると期待しています。

***4/8(土)には恒例のウォーキングイベントを行います。桜咲く春の村野古道(約5km)を歩きます。(詳細はHPをご覧ください)**

常設を目指して

こうした状況を受け、当部会では「ピコ水力」にスポットを当て、太陽光発電以外の再生可能エネルギーについても知り・関心を持ってもらおうと取り組んでいます。現在、会員メンバーの手作りによる移動設置型ピコ水力発電装置により啓発活動を行っています。

今後は、再生可能エネルギーへの関心を更に高め普及を図るため、ピコ水力発電装置を広く市民の目につく場所に常設したいと考えています。

そのため、目下頑張って準備を進めているところです。
メンバー一同「実現できたらいいな」と願っています。
皆さんも応援よろしくお願いします。





◆◆◆エコキャップ回収支援について◆◆◆

2015年4月10日に朝日新聞が『NPO法人エコキャップ推進協会が2013年9月以降、売却益をNPO法人世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)にワクチン代の寄付をしていなかった』と報じました。その記憶がまだ薄れていない今年、またもや『NPO法人エコキャップ推進協会がキャップの売却益を主な原資とする事業費の5割超を、子会社を通じて理事長や一部理事らの給与に充てていた(1月11、12日付朝日新聞)』との記事が載りました。更にそのニュースにより、当団体のエコキャップの持ち込み受け入れ事業所である「株式会社カンポ(NPO法人エコキャップ推進協会の協定事業所)」が、一時エコキャップの受け入れを見合わすとの決定をしました。そうした状況の中、環境ネットワーク会議でも新たな協定先を模索していたところ、「株式会社カンポ」から新たな寄付先を公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンに決定し、受け入れを再開するとの連絡がありました。これにより、環境ネットワーク会議では同社の決定に賛同すると共に、回収中継スポットとして中間支援活動を再開することとしました。

*****総会のご案内*****

平成29年度通常総会を下記の日程で開催します。今回は久々に記念講演も予定しています。詳細は後日ご案内を差し上げますが、予定の一つに入れていただき、当日はぜひご出席くださいますようお願いいたします。一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしています。

記

日時：5月27日(土) 13:30~16:00 (受付開始：13:00~)

場所：環境保全研修室(サブリ村野南館2階 環境情報コーナー隣)

「くらわんか塾」のご案内

～「余暇を充実したものに…」とお考えの方に朗報です～

「くらわんか塾」ってなに？と思われる方も多いと思います。会員さんの中にもまだまだ周知されていないのではないのでしょうか。「くらわんか塾」は、環境啓発活動としての出前授業の担い手養成講座として開講しているものです。「出前授業の担い手」と聞くと、「何か資格がいるのでは?」「環境についての知識が求められるのでは?」などいろいろ思いがちですが、特別なものは何もありません。

今年度は7月1日、8日の2日間です。ぜひお気軽に受講してみてください。きっと充実した余暇を過ごせるようになると思いますよ ☆-♪

詳しくは後日公共施設に設置・配布するチラシをご覧ください。



私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回のテーマは、「トランプ大統領でどうなる脱温暖化!?」「ホッキョクグマの脅威は氷の溶解だけ?!」「インド 使い捨てプラスチック使用を全面禁止!」です。

◆ トランプ大統領でどうなる脱温暖化!?

トランプ大統領は選挙期間中から地球温暖化問題に対し、気候変動は「中国がでっち上げたものだ」と主張し否定的な発言を繰り返していました。また昨年発効した温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」からの離脱も取り沙汰されています。しかしパリ協定は、協定発効後3年間は脱退を宣言できず、3年後に脱退を宣言してもその後1年間は離脱が認められない規定になっているのです。とは言え、脱退できないまでも、トランプ氏がオバマ政権が掲げて国連に提出した温室効果ガス削減目標である「2025年に、2005年比26～28%削減」の達成に対し、本気で取り組まない事実上の不実施（inaction）という事態は十分に考えられます。そのことは、先月14日のロイター通信で『トランプ大統領は政府の政策決定時に気候変動への配慮を減らす大統領令に今週中にも署名する方針であると、政府関係者が明らかにした』と報じたことからもうかがえます。

世界196カ国・地域が参加し採択された「パリ協定」ですが「京都議定書」の二の舞にしないよう日本政府にも頑張ってもらいたいものです。

◆ ホッキョクグマの脅威は氷の溶解だけ?!

世界気象機関が今年1月、北極と南極の氷の面積が観測史上最少になったと発表しました。それによると『北極については、通常1月は凍結のために海水面積は増大するが、今年は地表で高温を観測しており、海水温も上がり、凍結より溶解の面積が上回ったものとみられる。世界の1月の平均気温も観測史上3番目の高さだった。』とのこと。ホッキョクグマにとって氷の面積が小さくなることは生存が脅かされることに繋がりますが、彼らにとっての危機はこれだけではありません。米環境毒性化学会の研究論文で明らかにされたところによると、ポリ塩化ビフェニルや撥水・撥油処理剤などに使われている有害化学物質である残留性有機汚染物質（POPs）のリスクにも直面しているということです。

今回の研究では、ホッキョクグマ・アザラシ・ホッキョクダラへの影響について調査され、クマの成獣で安全水準の100倍、汚染された母乳で育つ子グマの場合は1000倍になるということです。北極の動物たちは、温暖化だけでなく有害化学物質の脅威にもさらされ、生存の危機に面しているのです。

◆ インド 使い捨てプラスチック使用を全面禁止!

毎年880万トンものプラスチックごみが海洋に流れ込んでいるのですが、そのうち60%がインドから廃棄されたものであると言われています。今年1月インドの国家グリーン審判所は、首都デリーで使い捨てのプラスチック製の容器・フォーク・ナイフ・ビニール袋などの使用を全面的に禁止する法律を公布しましたが、この法律が世界的にも環境保護の大きなステップになることが期待されます。

地域の環境人 登場!!



いろいろな環境活動が 私の周りで そしてあなたの周りでも

2014年の夏号に登場したこのコーナーも今回で最終となります。エコバッグを必ず持ち歩く“大阪のおばちゃん”が登場したり、里山保全に汗を流している人、地域の清掃活動に黙々と取り組んでいる人、移動はもっぱら自転車という人もおられました。

尤も、こうした人たちがみな「環境活動」に取り組んでいる」という明確な意思を持っておられる方ばかりではないと思いますが、このように実にさまざまな環境活動が私たちの周りで行われていることに喜びと安心を覚えました。

皆さんもぜひそんな人たちの仲間に入ってみませんか？



このコーナーではエコな取り組みや頑張っている人、環境への関わりや思いを紹介してきました。次回からは「ちょっとお得なエコライフ」のコーナーとして、身近な“エコのアイデア”や“エコだなー”と思えることなど、皆さんからの投稿をご紹介していきたいと思っています。ぜひたくさんの投稿をお待ちしています。

- * 写真、イラスト、原稿（200～400字程度、紙面の都合で加工させていただく場合もあります）など、形態は問いません
- * 掲載の方には粗品を進呈いたします。

ひとこと

私事で恐縮ですが、3月に2人目の孫が生まれました。片づけなければいけない仕事如山積みの時期に重なり、てんやわんやの毎日でした。今回の会報誌もそんな多忙な中での作業となり、期日までに仕上がるかどうかと不安を抱えながらも、何とか無事発行することができました。

ところで私はよく（環境ネットワーク会議の活動）「なぜそんなに頑張れるの」と聞かれます。「次世代に素晴らしい環境を手渡したいから」と答えます。新しい命の誕生でますますその思いを強くしています。

A・M

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第53号

平成29年4月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：伊丹 均 編集責任者：丸井 晶子